

# 野菜園芸 研究室

## 摺崎ゼミナール

### 《研究室について》

土壌分析に基づいた環境にやさしい野菜栽培に取り組んでいます。

### 《担当教員》

摺崎 宏

### 《担当教科》

野菜園芸学総論、ガーデニング概論、園芸療法Ⅱ、  
情報処理、園芸実験実習Ⅱ・Ⅳ 園芸研究

## 野菜

農産物の産地表示や食品の安全性、諸外国との自由貿易協定、環境問題などが取り沙汰され、重要な課題がたくさんあります。本ゼミではこれらの課題に対して真摯に対応できる能力を備えた21世紀の中心的役割を担う人材の育成を行っています。



## バイオテクノロジー

試験管での種苗生産から温室での栽培、販売まで継続的かつ確実に植物バイオテクノロジーに関する一連の先端技術修得ができるよう実践的教育を実施しています。



### 在校生より

摺崎ゼミでは、編入を希望する学生も多いため農業の勉強だけでなく、毎週月曜の放課後に英語の補習に励んでいます。

また、トマト、メロン、ナス、キュウリ、ホウレンソウなど、多くの野菜を栽培しながら農業について学んでいます。実習では自分の畑が与えられ、そこで野菜の研究などをしており、とても楽しみながら研究などの活動がしていけます。

### 《ゼミナールテーマ》

- ・丸型ショベルによる断根処理がトマトの果実糖度と果実重に及ぼす影響
- ・緑肥作物（スーティングラス）乃すき込みがニンジンの生育に及ぼす影響
- ・テフロン製ホモジナイザーを用いたミニトマト果実のリコピン定量法
- ・ミニトマト栽培における定植方法の違いが作業効率と生育・品質に及ぼす影響
- ・トマト果実を用いたリコピン産生カルスの誘導
- ・保存温度と保存日数がミニトマトの果実品質に及ぼす影響